

## 第 10 回 群杭挙動の実証的研究委員会議事録

日 時：2011 年 4 月 14 日 15:00～17:30

場 所：東京大学 工学部一号館 4 階セミナー室 A

出席者：東畑委員長，寺倉幹事，金田委員，川邊委員，木村委員，佐藤委員，関委員，高橋委員，千明委員，角田委員，中澤委員，沼田委員，平出委員，松木委員，吉富委員，山田委員，本間委員，石原委員，後藤幹事（記録），青山（発表予定者，東京大学土質研）

欠席者：伊藤委員，斉藤委員，松島委員，吉川委員，小林（恒一）委員，田地委員，松本委員，小林（俊一）委員

配付資料：

10-1 前回議事録

10-2 委員会名簿

10-3 学会年次大会投稿原稿（地盤工学会 2 編，土木学会 1 編）

10-4 平成 23 年東北地方太平洋沖地震による建築物被害第一次調査 茨城県・千葉県境周辺における液状化等の被害（速報）（平出委員）

10-5 2011 年東北地方太平洋沖地震液状化調査速報（沼田委員）

議事内容：

### 1. 新任委員の紹介

新任の石原委員（株式会社技研製作所）が紹介された。

### 2. 東北地方太平洋沖地震に関する情報提供

今回の地震に関する情報を共有することを目的に委員からの今回の地震被害に関する情報提供がおこなわれた。

#### 2-1 石原委員からの情報提供

石原委員からパワーポイントを用いて地盤工学会四国支部の調査団としておこなった地震被害調査結果が紹介された。調査期日は 4 月 5 日～8 日，調査地域は盛岡，釜石，東野，陸前高田などであり，津波や橋梁の被害調査結果が照会された。

#### 2-2 平出委員からの情報提供

平出委員から資料 10-3 を用いて情報提供がおこなわれた。調査実施時期は 3 月 24 日であり，茨城県と千葉県の県境付近を中心に建築物の液状化被害を調査した結果が紹介された。同じ内容が建築研究所のホームページにも載せてあるとのことであった。

#### 2-3 沼田委員からの情報提供

沼田委員から資料 10-4 を用いて情報提供がおこなわれた。調査時期は地震直後（3 月 19 日）であり，調査範囲は野田市およびその周辺の液状化被害である。

#### 2-4 中澤委員からの情報提供

中澤委員からパワーポイントを用いて情報提供がおこなわれた。内容は中澤委員が実務としておこなった河川堤防の調査結果であり、主な場所は北上川および旧北上川などである。

#### 2-5 東京大学 土質/地盤研究室からの情報提供

東京大学土質/地盤研究室の調査結果を後藤幹事と青山（東京大学土質研）が紹介した。紹介された主な調査地点は浦安，新木場，葛南中央埠頭，海浜幕張，磯辺，布佐，日ノ出町（潮来），旭市，鹿島港，南栗橋，那珂湊，那珂川（下大野），大洗，藤沼ダムなどである。

#### 3. 話題提供

金田委員よりパワーポイントを用いて「群杭実験の事前解析結果」について紹介があった。おこなったのは土槽の 1/4 をモデル化した三次元数値解析であり、地盤はモールドクロンの破壊基準を適用している。概ね実験の再現ができています。

#### 4. その他

- 群杭の土槽実験結果を収録した CD を委員の方に配布した。内容はタクタイルセンサーのデータと TDS530（ひずみゲージなど）のデータである。タクタイルセンサーのデータを表示させるために東京大学で作成したソフトも収録してある。
- 次回委員会は 2011 年 6 月 15 日（水）15 時より東京大学工学部 1 号館 2 階セミナー室 B で行う。
- 議事予定は①群杭試験の分析結果報告，②話題提供（沼田委員：木杭の実験結果など），③その他。
- 他にも話題提供して下さる委員はご連絡下さい。